

機能安全セミナー

大学の知と認証取得実務のノウハウを基盤に、
実務に即した機能安全を学ぶ

規格書を
「読む」だけで
終わって
いませんか？

実在の AMR（自律走行搬送ロボット）開発を題材に

機能安全の認証取得申請書を作る

セミナーの3つの特徴

1

実在の AMR を題材にした
ケーススタディ

架空のモデルではなく、実際に長岡技術科学大学に導入・開発されたロボットを題材にします。

2

「生きた」
ドキュメント教材

機能安全の認証取得の際に、実際に作成される「安全要求仕様書 (SRS)」や「安全計画書」等の実物を教材として使用します。

3

大学の知見 × 実務の
ノウハウ

長岡技術科学大学の教育的知見と、認証取得経験のある実務家講師、認証機関勤務経験者が、連携して指導します。

講師紹介

大学の知見 × 第三者認証実務を熟知した講師陣による指導です。



産業用ロボット・サーボ等
多数の第三者認証取得経験者



長岡技術科学大学システム
安全系教員



第三者認証機関
勤務経験者

開催概要

本セミナーは、長岡技術科学大学におけるシステム安全・機能安全教育の知見を基盤に、企業実務に接続するための「理解深化」を目的とした教育プログラムです。認証取得代行を目的とするものではありません。

提供

一般社団法人 技科大テックブリッジ (GTB)
〒441-8122 愛知県豊橋市天伯町字雲雀ヶ丘 1-1
MAIL : gtb-n@tecbridge.or.jp



一般社団法人
技科大テックブリッジ

一般社団法人 技科大テックブリッジ (GTB) は、豊橋技術科学大学および長岡技術科学大学を母体とした産学連携支援組織です。

本セミナーの特徴

機能安全を「設計プロセス」として学ぶとは

機能安全は、規格を満たすことが目的ではありません。安全機能をどう設計し、どう検証するかという開発プロセスそのものです。本セミナーでは、条文解説に留まらず、設計で何を考えるべきかに焦点を当てます。

実在の AMR を題材に、実務成果物で学ぶとは

長岡技術科学大学に導入された AMR（自律走行搬送ロボット）を題材に安全機能認証取得申請のために作成された文書を教材として使用します。

【使用教材】 安全要求仕様書（SRS） 安全計画書（Safety Plan） 各種管理文書・設計書

文書の粒度・考え方・水準感を具体的に理解できます。

自社に持ち帰れる「判断軸」が身につくとは

説明を聞くだけの講義ではありません。実製品をもとに、規格要求をどう解釈し、設計や文書にどう反映するかを示します。セミナー修了後、自社で機能安全対応を進めるための現実的な進め方と判断軸を持ち帰ることができます。

カリキュラム構成（全4回・4日間）

【フェーズ1：コンセプト設計】 (2日間 25年度より開講)

第1回 機能安全の基本概念と規格全体像

機能安全がなぜ必要なのか、規格の全体構造を理解する。

第2回 安全要求・リスク評価・安全計画の考え方

リスクアセスメントの実践、安全目標の策定手法。

【フェーズ2：設計開発・実装】 (2日間 26年度より開講)

第3回 設計・開発フェーズでの機能安全の実務適用

ハードウェア/ソフトウェア設計への落とし込み。

第4回 文書化、審査対応、社内体制構築の考え方

認証取得に向けた文書管理と組織体制のポイント。

POINT

実務直結の教材を使用。規格の条文解説にとどまらず、開発過程で実際に作成された「安全要求仕様書（SRS）」や「安全計画書（Safety Plan）」各種管理文書の実物を教材として参照しながら解説します。

受講方法と料金（税別・1名）

【公開セミナー】

フェーズ1(第1回+第2回)：40万円

フェーズ2(第3回+第4回)：40万円

フェーズ1+2(第1回~第4回)：80万円

単回受講(特定テーマ選択)：25万円/回

※単回受講は、「社内での役割上、必要な回のみ受講したい方向けの選択肢」です。

(詳細はお問い合わせ)

【オンサイトセミナー】

公開セミナー2名分相当

1名~10名(同一料金)

開発チーム単位での受講に最適です。

(詳細はお問い合わせ)

お問い合わせ・お申込み

一般社団法人 技科大テックブリッジ (GTB) 長岡オフィス MAIL: gtb-n@tecbridge.or.jp